



STUDENTS TRUST INTERNATIONAL  
ANNUAL REPORT 2009

2009 年度 OEF 基金代表報告



感謝すべき事に、2009 年度は 2008 年度と比べ、打撃も少なく、話題もあまりない年でした。金融市場はいくらか回復し、多くの経済国は少なくとも経済収縮に歯止めを掛けました。世界中の人々は最悪の時は過ぎたと信じています。

しかしながら、この種の出来事は地震のように余震が起り、まるで長期投資家の忍耐力を試すかのように、通貨、

利回り、並びに株式市場が短期的に変動する可能性があります。また、これは最近のギリシアおよびポルトガルにおける金融危機に関するニュースにより、ユーロの価値は急落し、政府が債務不履行を起す可能性が高まりました。今回のニュースにより欧州株式市場は、EU 連合の長期的動向を懸念すると同時に、大きな打撃を受けました。

お子様が欧州で学校に通われるお客様にとっては、これは実際悪いニュースではありません。なぜなら、カナダドルまたは US ドルプランの積立金は、より良い為替レートにより、お子様の教育資金をより多く補えることになります。そして、他のお客様においては、G7 国の中でも最も信頼の高い二国の政府発行債へ投資している為、政府借入保証についても安心して頂けるのではないのでしょうか。つまり、両国とも、過去に一度も国債不履行を起したことがないのです。

我々は常に、STI プランの予想利回りおよび委任契約による投資利益幅の制限についてご説明いたしております。2009 年度においては、複数の要因により US ドルプランが 13%以上という予想外に高い利回りを出しましたが、再度同様のことが起こるとは考えていません。2008 年は米国債が非常に低金利であることから、2008 年を通して、US ドルプランはキャッシュを保有していました。2008 年度の US ドルプランの運用実績は我々の目標 6-8%を大幅に下回りました。金融危機が起り、我々は 2009 年 4 月までタイミングを待ち、米国株へ投資しました。

この配分により 2009 年 4 月から 9 月の間に 54%もの利子を得ることになり、ポートフォリオに占める割合が異常に大きくなってしまいました。また年度末にはこの成長により、リスクの高い株式投資のポートフォリオに占める配分が大きくなり過ぎ、直ちに修正する必要が出てくる、という問題が発生いたしました。現在我々は株式の大半を売却し、利回り 5~5.5%の政府発行債へ切り替えました。カナダドルプランのポートフォリオは、カナダドルが主要通貨に対してカナダドル高傾向のため政府発行債のレートが下降気味ではありますが、期待通りの成長をしております。

プラン運営に強要されているわけではありませんが、プラン開始時から毎年恒例となっている寄付が其々のプランへ加算されました。今年の寄付金額および両プランへの投資利回りは下記表をご覧ください。

	資産額	投資益	寄付金
カナダドルプラン	\$ 46.5M	6.05%	\$ 300,000
US ドルプラン	\$ 10.5M	13.51%	\$ 56,600

これら数字は、全体の運営経費がカナダドルでは 0.25%まで、US ドルプランにおいては 0.43%までに削減されたことを示しています。投資先を同じくする投資信託や保険商品と比較しても、STI プランはずば抜けて優秀であるといえます。

既契約者の皆様にご報告通り、我々は過去数年間、シンガポールにてプランの登録手続きを行ってまいりました。シンガポール金融管理庁より指摘された問題-英領バージン諸島の法規制はオシオネシーエジュケーションファンデーション (以降 OEF とする) をシンガポールで登録する条件を満たしていない、という点のみが未解決でした。シンガポールの登録を完了するために、STI プランのバミューダ島へ移籍の許可をいただくよう、ご契約者の皆様をお願いをしました。幸いなことに、この変更に関して契約者様のほぼ全員一致で、賛同を得ることができました。現在 STI プランはバミューダ島を本登録地として、シンガポールにも登録されています。この移行により、アジア地区の多くの国でマーケティングを行っている新代理店と新たにプラン配布に関する最終協議に入っているというよい結果をもたらせました。

OEF は、STI プランのスポンサーであり、運営団体として英領バージン諸島にオフィスを設置しておりますが、STI プランの全ての運営はバミューダ島を拠点とします。

2009 年には、我々は US ドルプランおよびカナダドルプランにおいて、初の学資金が支給されました。支給額は元来の期待値を下回りますが、過去 2 年間に世界市場で起きたことを考慮すると、これ程までの高い数値を出せたことを喜ばしく思います。

学資金受取者数は増加する一方、契約者による途中解約が大変少ないという事実もありますので、当面、我々はこの様な支給額を保つことができていると思っています。ご存知の通り、これら 2 つの要因は、投資利益同様、学資金支給額に大きく関係しております。そのため我々は年次報告書の数字を調整し、現在の学資金支給額を反映しました。この調整をご確認いただき、学資金受取額の増加をご希望の場合は、お近くの STI プラン代理店へお気軽にお問い合わせ下さい。

2010 年に関する我々の予測は現実的なものとなっております。2009 年には経済回復に長期間要したことを反映するかの様に、政府発行債は従来よりも低金利のまま留まり、株式市場においては大した成長は見込まれていません。STI プランも金融危機以前の 2・3 年間で見られた 50%増の成長がここ暫く停滞していましたが、再度新規加入者が増え、我々の資産が急成長することを願ってやみません。

STI プランのスタッフ・世界中の販売エージェントおよび取締役会を代表して、皆様から我々にご信頼を置いていただいていることを心より感謝申し上げております。我々は本報告書が快く受けとめられ、大学教育を通してよりよい未来のためにお子様の夢を叶えるお力添えをさせて頂きたいと思っております。

(署名)  
トム オシオネシー (公認会計士)  
代表および創立者  
スチューデント トラスト インターナショナル プラン

# STUDENTS TRUST INTERNATIONAL ANNUAL REPORT 2009

## グローバル：海外キャンパスの拡大

世界中のより多くの学校が海外に分校を設立しています。実際、その数は過去3年間で2倍の126校となり、2002年以降からは8倍となりました。米国は独占的に、海外キャンパスを世界中に拡大していますが、他の国々も受入国や支援国として関わっています。

ボーダレス高等教育観測所 (the Observatory on Borderless Higher Education) のレポートによると、開催国のなかでもアラブ首長国連邦は世界の海外キャンパスの1/4を受け入れており、明確なリーダーシップを示しています。

レポートによると、既存キャンパスの中で、1999年以降から運営しているのは35校のみです。2006年9月以降より、少なくとも49校の新しいキャンパスが設立されており、現在の総合計キャンパス数の30%に当たります。また新たに3校が近々設立される予定ですが、同時に海外キャンパスの内5校が閉鎖されています。

これらのキャンパスのほとんどは(162校中の111校)はアングロフオン諸国の団体により設立されており、米国は全体の48%占める海外の78校を設立し、他国を抜いています。米国の次は全体の9%に当たる14校を持つオーストラリア、全体8%に当たる8校を持つ英国、そして11校を持つフランスとインドです。7つの小規模キャンパスを持つメキシコ、5校を持つオランダ、4校を持つマレーシア、そして3校を持つカナダとアイルランドなど、複数の国は海外で多数のキャンパスを運営しています。

下記リストは、サテライトキャンパスを設置している米国の著名な大学です。

- **American University – Dubai, U.A.E.**  
<http://www.aud.edu/>
- **Carnegie Mellon University Heinz School – Adelaide, Australia**  
<http://www.heinz.cmu.edu.au/>
- **Cornell University – Singapore**  
<http://www.gms.edu.sg/>
- **Georgetown University School of Foreign Service – Doha, Qatar**  
<http://www.georgetown.edu/sfs/qatar/>
- **Johns Hopkins-Nanjing University Center for Chinese and American Studies – Nanjing, China**  
<http://www.sais-jhu.edu/Nanjing/>
- **Massachusetts Institute of Technology – Singapore**  
<http://www.web.mit.edu/SMA/>
- **Ohio University – Hong Kong, China**  
<http://www.ohiou.edu/hk/>
- **Temple University – Tokyo, Japan**  
<http://www.tuj.ac.jp/newsite/main/index.html>
- **University of Chicago, Graduate School of Business – Singapore**  
<http://www.chicagogsb.edu/visit/singapore/index.aspx>
- **University of Maryland, Robert H. Smith School of Business – Beijing and Shanghai, China**  
<http://www.rhsmith.umd.edu/emba/china>
- **University of Nevada, Las Vegas – Singapore**  
<http://www.unlv.edu.sg/>
- **Virginia Tech University – Mumbai, India**  
<http://www.international.pamplin.vt.edu/mitIndia/>
- **Yale University – Peking University – Beijing, China**  
<http://www.yale.edu/iefp/pku-yale/>

英語圏の大学教育の目的地は米国、英国、カナダ、またはオーストラリアです。各国における5台大学を留学生用のウェブサイトと共にご紹介いたします。

### 米国 – 2008 年度合計生徒数-671,616

- ハーバード
- スタンフォード
- イエール
- シカゴ大学
- MIT(マサチューセッツ工科大学)

[www.educationusa.state.gov](http://www.educationusa.state.gov)

米国国務省サイト

<http://www.edupass.org>

あらゆる話題を含む一般企業サイト

<http://www.abroadplanet.com>

留学生の交流の場を提供する学生運営サイト

### 英国 – 2008 年度合計生徒数 – 341,795

- ケンブリッジ
- オックスフォード
- エディンバラ大学
- ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン
- マンチェスター大学

<http://www.ucas.ac.uk/>

英国における高等教育への進学を支援するNPO

<http://www.ukcisa.org.uk>

英国における留学生のニーズを促進・保護するサイト

<http://www.educationuk.org>

英国の文化関係・教育の機会を支援する国際団体

### オーストラリア – 2008 年度合計生徒数 – 182,770

- オーストラリア国立大学
- シドニー大学
- メルボルン大学
- クイーンズランド大学
- モナッシュ大学

<http://www.studyinaustralia.gov.au>

あらゆる話題を包括するオーストラリア政府サイト

<http://www.nlc.edu.au>

オーストラリアにおける全留学生の全国組織であるNLCのサイト

<http://www.ausaid.gov.au/scholar/studyin.cfm>

オーストラリア奨学金プログラムの中ではプログラムであるオーストラリア開発奨学金(ADS)のサイト

### カナダ – 2008 年度合計生徒数 – 178,486

- マギル大学
- トロント大学
- ブリティッシュコロンビア大学
- マックマスター大学
- アルバータ大学

<http://www.cic.gc.ca/english/study>

あらゆる話題を包括するカナダ政府サイト

<http://www.schoolsincanada.com>

留学生を支援する一般企業サイト

<http://www.scholarships.gc.ca/scholarshipsnoncdn-bourseset-eng.aspx>

留学生の奨学金に関するサイト

### HSBCプライベートバンクによる投資コメント

2010年の世界経済は我々の前回レポートで予測した通り、成長軌道に戻りました。主に欧州諸国は年初より、予測を下回っていますが、米国や中国のようないくつかの国は、成長予測を上回っています。2010年度の収支に関しては、急速に回復したこれら経済成長国は成長率を減速させるが、第2四半期および今年度は一概に上昇傾向に留まるだろうと予測しています。これらの国は未だ堅調な動きを見せていませんが、本書に記載する理由により緩やかな回復のペースを継続させると見ています。

これは市場にとって何を意味するのでしょうか？先進国市場における超過負債の逆風により、世界経済回復は妨げられ、多くの市場では不確実性および乱高下が生まれます。これは投資家にとって、配当支払会社、投資適格債、収入を生む不動産投資、ブルーチップ（優良株）ヘッジファンドなどへの投資のように、高い資産価値を重視しつつも、よりリスクの高い投資を引き続き行うことを意味します。いくつかの市場、通貨、また近年の金融不安により過剰供給となっている政府発行債券への戦略投資は、短期的には利益を期待できます。しかし総合的には、投資家にとって今こそ明敏になる時であり、悲観的になり過ぎる必要はないと考えています。

### 確定利付

確定利付資産は今後数ヶ月で、多くの問題に直面する可能性があります。量的金融緩和は解除され、すでに金融引き締め傾向にある国もあります。先進国は、巨額負債を負っており、積極的に赤字削減しない限り、今後もリスクプレミアにおいて不利益をもたらす可能性があります。これらが、我々をして先進国市場を独占する国の負債に関して悲観的な意見を持つ理由です。しかしその反面、市場のインフレに対する期待は誇張されているに過ぎません。企業や新興市場国の財務状態はもっと健全であり、引き続き投資家からの強い関心を集めるでしょう。従って、我々は、価値のある債券市場への積極的姿勢を維持します。

### スコティアマクロードによる投資コメント

世界の生産高成長は、金融・財政政策調整、金融緩和政策、また棚卸資産が大幅に増加したことにより、勢いを増し続けています。特に、今年初めの好調な動きを反映させるため、2010年度カナダの経済予測を僅かに上方修正しました。多くの債務過剰国では、借入コスト、新たな金融規制、家計のデレバレッジ（借金返済）などにおける上昇基調は、多くの主要産業において再編成され、2011年にはさらに堅調な成長を示すと予測しています。

カナダなどの先進国やインドなどの国内経済活動の動きが速まる発展途上国においては、インフレが進んでいます。日本と同様にデフレ状態が続く国も多く、金融緩和政策、需要増加、商品価格高騰などに反応し、物価高騰の兆しが見え始めています。

長期的には、借入コストはより高くなると見ています。国債を大量発行することにより、金融危機により多額の負債を抱える企業への融資、また、経済回復がより明確になれば金融政策がいずれ安定するという期待感もありますが、特に欧州周辺国に見られる国債不履行のリスク上昇など、多くの要因が、この金利上昇傾向の再発を招いています。我々は、ベンチマークとなる10年債利回りは、この逆風がさらに米国

経済成長を妨げて利回りを下げてしまう前に、2011年上半期において5%を上回ると予測しています。米国においては、比較的経済・金融基盤が改善されている為、国内の長期利回りがそれより下回る可能性はありますが、カナダ国債利回りは並行して上がる見込みです。

### BMO ネスビットパーンズによる投資コメント

我々は現時点において、我々の推奨する資産分配を変更致しません。政府発行債券利回りは継続して低水準にありますので、投資家は理想的な投資とも言える、リスクを伴う投資（株式投資）に重点をおくべきであると思っております。北米株式市場は十分に評価されており、企業の重要な収益源により継続して収益を上げています。

2008年12月以降、いくら魅力的な結果を得る事ができる株式市場であっても株式への投資に慎重になっている方へは、各自のリスクの許容範囲に合わせて投資適格債やハイイールド企業債への投資をお勧めしています。

2009年後半以降より、投資適格企業債の上げ相場も頭打ちとなり、この分野でのキャピタルゲインは今後難しくなると書きました。また、ハイイールド債は今後も少し成長する見込みであると書きましたが、我々は現在も同様に捉えています。しかし、企業債券市場におけるハイイールド債への新規投資は推奨いたしません。

我々が推奨した資産配分表では、我々の優先傾向を表すため株式投資への推奨は星印で示しておりましたが、株式市場への投資を好まない投資家には企業債務を代用しました。このポートフォリオ戦略では、企業債へ投資していた投資家が再び株式へ投資するよう、我々の推奨を表すため星印を外しました。

	推奨	ベンチマーク
キャッシュ	10	5
確定利付	55	70
株式	35	25

現在も投資家は、彼らのポートフォリオにおける投資負債に対して、キャッシュまたはそれに代わる資産を貯蓄しているようです。彼らのモチベーションはリスク回避から、今後の金利上昇への期待と広範囲にわたっています。しかし、償還期間および利率の関係を表している政府発行債のイールドカーブ（利回り曲線）は、ここ十年でかつてないほどスティープ（傾きが急）になっています。

## 管理レポート

年払い又は5年払い積立で契約をされている皆様へのお知らせです。積立金は、契約当初にお送りした契約パッケージに記載されている契約応当日までに送金して下さい。

積立金はすべて、下記の HSBC 信託人宛に、電信送金をして下さい。

### カナダドル建て STI 学資積立プラン送金先

受取先銀行：The Hong Kong & Shanghai Banking Corporation LTD.

受取先銀行住所：1 Queen's Road Central, Hong Kong

銀行コード (オプション)：004

SWIFT コード：HSBCHKHHKHK

受取人口座名義：HSBC International Trustee Ltd. as trustee of the Student International Plan – CD\$

受取先口座番号：808-313779-838

重要な追記事項

- ① 送金の際には、次の一文を必ず入れて下さい。  
"Please remit to CA\$ Account"
- ② 送金指示書の連絡欄に必ず、お客様の STI 契約書番号を入れて下さい。

### US\$建て STI 学資積立プラン送金先

受取先銀行：The Hong Kong & Shanghai banking Corporation LTD.

受取先銀行住所：1 Queen's Road Central, Hong Kong

銀行コード (オプション)：004

SWIFT コード：HSBCHKHHKHK

受取人口座名義：HSBC International Trustee Ltd. as trustee of the Student International Plan – US\$

受取先口座番号：808-313761-838

重要な追記事項

- ① 送金の際には、次の一文を必ず入れて下さい。  
"Please remit to US\$ Account"
- ② 送金指示書の連絡欄に必ず、お客様の STI 契約書番号を入れて下さい。

### バミューダプラン送金先

経由銀行※：Royal Bank of Canada  
180 Wellington St. W. 6<sup>th</sup> Floor, Toronto,  
Ontario, M5J1J1, CANADA

SWIFT コード：ROYCCAT2

受取先銀行：The Bank of Bermuda Limited

6 Front Street, Hamilton, Bermuda

SWIFT コード：BBDABMHM

受取先口座番号：010-739639-511

受取人名義：Bermuda Trust Company Limited as Trustee of the STI Bermuda Plan

受取人住所 (送金銀行より要求された場合のみ記載してください)：

Compass point, 9 Bermudiana Road, Hamilton, HM II Bermuda

重要な追記事項

- ① 送金指示書の連絡欄に必ず、お客様の STI バミューダ契約書番号を入れて下さい。
- ② 銀行送金終了後に必ず送金の控を当該代理店または、[jspeers@stiplan.net](mailto:jspeers@stiplan.net) までお送り下さい。

※経由銀行情報が Royal Bank Of Canada へ変更されましたので、今後のご送金時にはご留意ください。

## 学資金受取り予定者の為の学資金支払いプロセスに関して

### 1：学資金はいつ支給されますか？

大学等、高等教育機関への入学が決定した段階で出来る限り早く学資金受取人は **STI 公式学資金支給申請書** をお送り下さい。バミューダプランの学資金受取人は、大学2年、3年、4年時に学資金支給を受けます。STI カナダドル建てプラン並びに STIUS ドル建てプランの学資金受取人は、大学1年、2年、3年、4年時に学資金支給を受けます。

### 2：どのようにして **STI 公式学資金支給申請書** を貰うのですか？

この申請書は毎年5月に自動的に学資金受給予定者の皆様のお手元に E メールで送信されます。最新の E メールアドレスを OEF ご連絡いただきますようお願いいたします。

### 3：唯一、**STI 公式学資金支給申請書 (原本)** のみが学資金受け取りに有効な事をお忘れなきようお願いいたします。

コピーされたものは受け付けません。原本を国際クーリエ便又は配達証明の取れる国際郵便で下記の住所にお送り下さい。

Students Trust International Plan  
C/O O'Shaughnessy Education Foundation  
The Exchange Tower, PO BOX 427  
130 King Street, W Suite 1800,  
Toronto, Ontario, M5X1E3, Canada

### 4：許可されたコースにおける単位取得は高校卒業資格とみなされますか？

幾つかの高等教育機関並びに短期大学で修得したコースは、短大・大学のコースと同等であると受理されることがあります。この単位取得に関しての問い合わせは、認証手続きを取ったコース修了証のコピーに、**STI 公式学資金申請書** を添えて、国際宅急便又は配達証明の取れる国際郵便でお送り下さい。下記のプログラムに関しては高校卒業と同等とみなされます。

- 1) 大学入学資格検定試験
- 2) 国際バカロレア証書 (IBO)
- 3) 基礎学力認定証

### 5：5月より前に **STI 公式学資金申請書** が必要な場合には？

<http://www.stiplan.com> のアドレスのホームページにアクセスして頂き、そこから、学資金受け取りの方法をクリックして頂き、そのページの案内に従い、ワード形式のファイルをダウンロードして印刷して入手して下さい。

## STI プラン加入者顧客サービス情報

E メールでのご連絡先

バミューダプランの契約者：[service@stiplan.net](mailto:service@stiplan.net)

その他のプラン契約者：[jspeers@stiplan.net](mailto:jspeers@stiplan.net)

ボイスメールでのメッセージは、顧客センター電話番号 1-905-231-1142 までお願いいたします。

